

ID:	=患者情報!B1			( <span style="color: red;">肝動脈化学塞栓 [ミプラ動注用]</span> ) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2		殿					入院/外来	入力日
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8						
疾患名					開始日	年	月	日	
クール	1回投与 ※繰り返し投与する場合には、 4週間以上の観察期間を置くこと。				診療科				
					医師名				
適応基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 進行 <input type="checkbox"/> 再発			告知の有無		P S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済	
		身長		cm	体重		kg	体表面積	0.00
<b>重要</b>	B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、 全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。 <small>※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。</small>							<input type="checkbox"/> HBs抗原	
								<input type="checkbox"/> HBs抗体	
							<input type="checkbox"/> HBc抗体		
薬品名	単位	薬品名	単位	薬品名	単位	外来 化療 加算	<input type="checkbox"/> A		
ミプラチン	<input type="checkbox"/> mg/m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> mg/m <sup>2</sup>		<input type="checkbox"/> mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> B	<input checked="" type="checkbox"/> 対象外		
70もしくは120	<input checked="" type="checkbox"/> mg/body		<input type="checkbox"/> mg/body		<input type="checkbox"/> mg/body				
<b>レジメン内容</b>									
順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール					
①	ミプラチン注 [ミプラ動注用] ※ミプラ用懸濁用液にて懸濁		mg	肝動脈	1回投与				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: yellow; text-align: center;">           注意) 1A=4mLとなっているため、            3.5mL採取したことを確認して下さい。         </div>									
<p>(1) 懸濁液 (20mg/mL) の調製 … ミプラチン70mg/V 1バイアルを ミプラ用懸濁用液 <u>3.5mL</u> に懸濁させる。</p> <p>(2) 必要量の採取および投与 … <u>上限 1回6mL (ミプラチンとして120mg)</u> とする。</p>									
<p><b>【使用する器具について】</b></p> <p>◎カテーテル … <span style="color: red;">ポリ塩化ビニル製を含まないこと。</span></p> <p>◎シリンジ … <span style="color: blue;">専用シリンジ※<sup>1</sup> (カテ室に配置) を使用すること。</span>  <span style="color: blue;">※<sup>1</sup> センテックシリンジキットを用いてテルモシリンジ (1mL針付26G×1/2) を使用</span></p> <p>ご不明な点がございましたら、<span style="color: red;">使用する器具の商品名</span>を薬剤部までご連絡下さい。</p>									
<b>薬剤部; 混注対象外のレジメンとする。</b>									
確認者	監査者	注意事項など							
<small>※ポリ塩化ビニル製 → 可塑剤であるDEHPが懸濁液中に溶出する恐れがある。          ※ポリカーボネート製 → コネクター部分が破損し、血液及び薬液漏れ、空気混入等の可能性がある。</small>									